



今月もバドミントン大会や自由参観日、作文発表会におきまして、多くの方々にご来校いただきました。行事も、以前の姿に戻り、これからも子どもたちの表現・発表の場を設定していきます。子どもたちの成長・活躍を今後も島民の皆様に見守っていただきたいと思います。

## 教頭

## たのしみは

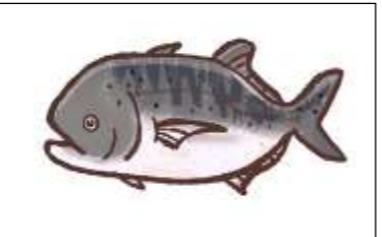
# 校長

6年生の国語の学習に「たのしみは」という教材があります。この学習は、江戸時代の歌人 橘 曙覧（たちばな あけみ）の、日常の暮らしの中に楽しみや喜びを見い出して、「たのしみは」で始まり、「時」で結んだ短歌を学習して、その形を借りて橘 曙覧のように、自分で「たのしみ」を短歌で表してみようという学習です。本校の6年生二人が作った短歌は、

「たのしみは 犬をけんさく パソコンで 見てかわいいな いやされる時」

「たのしみは 母がくるまえに 自分だけ こっそりかくれ 物を食う時」

でした。なるほど！と思い、子どもたちの作った短歌を見させてもらうことでした。話は変わりますが、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことで、コロナ禍以前のように5、6月は、多くの釣り人がここ諏訪之瀬島を訪れています。ここを訪れる釣り人のたのしみは、夜にトビウオを狙って港に入ってくるGT



(口ウニンアジ) を釣ることだと聞いて、その様子を見に行ってみると、「すごい！」の一言でした。初めて目の前でGTが釣り上げられる様子を見ましたが、釣り上げるまでの釣り人とGTとの駆け引きはスリリングでした。そして、釣り上げられたGTの大きさにびっくり。こんな大きな魚が何十匹も切石港に入ってくるのかと思うと、震いがすると同時に、諏訪之瀬島は、釣り人にとってあこがれの地の一つである意味がよく分かりました。

さて、最近、釣り人には、もう一つ別の「たのしみ」があるのではないかと思っています。それは、諏訪之瀬島の島民の方々との交流です。GTが掛かった時もあの大きな重たい魚を釣り人一人では引き上げることはできません。港に来てくださっている島民の方々が、大きな網を入れて引き上げてくださいます。ライトを照らしてくださったり、写真を撮ってくださったりと、いろいろとサポートもしてくださいます。釣り上げた時は、一緒に喜んでくれます。GT釣りは、島民の方々のサポートがあってこそできるものであり、釣り人と島民の方々が一体となって行われているものであることが分かりました。まさに、GT釣りを通しての熱く温かい交流が行われていました。また、釣りをしながらの会話も共通の話題等があって楽しいものです。

やはり「たのしみ」を大きくする最大の要因の一つは、「人の交流」なのではないかと改めて思う6月でした。

## すわのせっ子 6月コレクション



## バドミントン大会



## 集合學習・職場体験學習

掲載おめでとう！

南日本新聞 令和5年6月13日(火)

大物釣り上げふるえ止まらず  
講話之瀬島中2年

僕は3月に山海留学生として、岐阜県から調訪之瀬島にやつてきた。母と弟2人、妹の計5人一緒にだ。

母が2月に「いろいろな体験をするために、十島村へ行こう」と言つたのだ。そうして島に着くと、「自然がいっぱいでおもしろしそうだ」と思つた。

すぐに港へ釣りに行つた。最初はなかなか釣れなかつたけど、だんだんと釣れるようになつた。

ヨコスジダイを10匹釣つたこともあつた。

5月に入り、漁船に乗せていただき、釣りに行つた。その時、ルアードでかけたキハダマグロを、釣り上げる体験をさせてもらつた。引きが強くてリールを巻くのが大変だったが、絶対に釣つてやると思った。心臓がドキドキした。

僕はここ調訪之瀬島で、自然にもつと親しみたい。自然との闘わり方をたくさん学び、これからも心臓がバクした。キハダマグロは体長80㌢くらいだった。先日は元浦港で体長10㌢のオニカマスを釣つた。初めて自分で大物を釣つたので、手のふるえが止まなかつた。

僕はここ調訪之瀬島で、自然の闘わり方をたくさん学び、これらの生活をもつと豊かにしたい。

(十島村)

## 7月の行事予定

3日（月）授業参観・1学期末PTA  
5日（水）高校説明会1日目  
6日（木）高校説明会2日目・島内発送  
7日（金）水泳教室2⑤⑥  
10日（月）水泳教室3⑤⑥  
12日（水）水泳教室4⑤⑥  
13日（木）体育大会看板作り  
14日（金）・18日（火）水泳教室予備日  
19日（水）中学生八月踊り  
20日（木）終業式  
21日（金）夏季休業～8/31  
23日（日）国体炬火リレー  
24日（月）～25日（火）県総体（バドミントン競技）  
7/31～8/4 **学校閉庁期間**